

石川県七尾美術館だより

平成20年10月1日発行
編集・発行 石川県七尾美術館

第55号(秋号)



ISHIKAWA
NANAO
ART MUSEUM

2008イタリア・ボローニャ
国際絵本原画展

「土曜日の朝」(『金のくさり』より)
パティア・コルトン (イスラエル)

展覧会紹介

平成20年10月1日(水) ~

12月31日(水)

休館日については裏表紙をご覧ください

能登畠山家創立六〇〇年事業

「能登畠山氏と能登の美術」

開催中 10月26日(日) ~

◇第一・第二展示室

能登畠山氏は室町時代中期より戦国時代末期まで能登国を統治した大名で、室町幕府で管領職を代々つとめた畠山氏の有力庶流にあたります。

畠山氏と能登との関わりは嘉慶三年(二二九八)頃、畠山基国が能登守護になったのが始まりとされ、その後応永十五年(一四〇八)に基国の子満慶が能登守護を継承し、ここに満慶を初代として能登畠山氏が成立しました。

当時の守護大名は在京が基本であったことから、実際に能登在地での統治を行ったのは三代義統からといわれます。その後四代義元、五代慶致と続きますが、家中の対立や一向一揆などの危機も切り抜けて、着実にその勢力を確固たるものとしていきました。現在七尾のシンボルの存在となっている「七尾城跡」も能登畠山氏が築いた居城であり、この頃には姿を整えたとされます。



町文「畠山義親画像」
能登町萬福寺蔵



県文「善女龍王図」
長谷川信春(等伯) 七尾市蔵

そして七代義総の頃に能登畠山氏は全盛期を迎えます。義総の優れた統治によって能登は三十年にわたって安定し、領内は繁栄しました。特に七尾の城下町は多くの人や物で賑わい、人々は豊かな生活を送ったといわれます。

また、義総は文芸に深い関心を寄せ、三条西実隆に師事して『源氏物語』などの古典研究に励み、また京都より多くの文化人を招き、和歌や連歌の会などを度々行いました。それらの文化活動は家臣達や城下町にも広がり、「能登畠山文化」が華やかに展開することとなります。

その中で幼少期から青年期を過ごしたのが、後に京都で大活躍する画家・長谷川等伯です。等伯は若年期より多くの作品を描いており、七尾の城下町で数々の文物に触れたことが、画家としての大成に大きな影響を与えたと考えられます。いわば等伯は「能登畠山文化」によって生み出されたといっても過言ではないでしょう。

義総の死後、跡を継いだ八代義統の頃より能登畠山氏は斜陽期となり、国内では一族の対立や重臣達の台頭と権力争い、それに伴う内乱が続発し、次第に力を失っていきます。そして天正五年(一五七七)に上杉謙信の侵攻によって七尾城は陥落、能登畠山氏は滅亡し、約一七〇年にわたる歴史に幕を閉じました。

幕を閉じました。

能登の歴史に多くの足跡を残した能登畠山氏ですが、滅亡してしまったこともあって、知名度はあまり高くはありません。しかし現在も各所には同氏に関する資料や作品が残されており、その流れを知ることができます。

さて、今年は能登畠山家が創立されてちょうど六〇〇年の節目の年にあたります。七尾市内では既に様々な記念のイベントが開催されていますが、その一環として現在当館では企画展「能登畠山氏と能登の美術」を開催しております。

そこで本展では「能登畠山氏の文化」をテーマ1として、石川県内に所蔵されている能登畠山氏ゆかりの古文書や絵画などを中心に、長谷川等伯などの「長谷川派」といわれる作品を併せて展示しております。

また、テーマ2では「能登の美術」として、中世から現代までの能登地方にゆかりの様々な作品を、絵画を中心に当館所蔵品・寄託品を通して紹介しております。

中世能登の領主として、また「能登畠山文化」の担い手として、その歴史を演出した能登畠山氏の足跡をぜひこの機会にご覧ください。改めて郷土の歴史・文化に関心を持って頂ければ幸いです。



県文「賦何人連歌」(部分) 個人蔵
写真提供: 石川県教育委員会



市文「畠山義綱判物」 七尾市龍門寺蔵

◇観覧料

	個人	団体
一般	500円	400円
大高生	350円	300円

※中学生以下無料・団体は20名以上です。

共同企画展案内(こちらも開催中!)

能登畠山家創立六〇〇年事業

「能登畠山氏と文芸の世界」

◇会場：七尾城史資料館(七尾市古屋敷町タハ一)

☎0767(53)4215

◇会期：開催中(10月26日(日))

毎週月曜日休館(10/13は開館、翌日休館)

◇開館時間：午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

◇観覧料：一般200円(160円)

大高生160円(120円)

中学生以下無料・()は20名以上の団体料金

能登畠山家歴代当主はいずれも文芸に大変造詣が深かったといわれますが、中でも七代当主義総は特に熱心で、古典研究においては当時の第一人者である三条西実隆より

「古今伝授」を受けるほどに精通していました。和歌、連歌なども巧みで、七尾城には長持三万棹もの書物が所蔵されていたといわれます。

本展では、その義総の華やかな文芸活動に関する文書や、城下町跡より出土した資料などを展示し、「能登畠山文化」と能登畠山氏の足跡を紹介しています。

県文「畠山義総書状」 石川県立歴史博物館蔵

●「能登畠山展」特別相互割引

「能登畠山展」期間中、当館及び七尾城史資料館の観覧券(半券可)をもう一方で提示すると、観覧料が割引(団体料金)になります。

※観覧券一枚につき一人一回限り有効です。

どなたでも参加できます

「能登畠山展」見学バスツアー

参加者募集中!

七尾城史資料館と当館でそれぞれ開催されている「能登畠山展」と、能登畠山氏の居城「七尾城跡」を学芸員や専門家の解説を聞きながら見学します。このまたとない機会に、能登・七尾における畠山家について、楽しみながら学んでみませんか。

見学後の特製「秋の味覚」弁当もお楽しみに。皆様からのお申込みをお待ちしております!

◇日時：10月13日(月・祝)

午前9時～午後1時頃まで

◇見学コース

「七尾市バス利用、集合・解散：美術館」

七尾美術館→七尾城史資料館→七尾城跡
懐古館飯田家(昼食)→七尾美術館(解散)

◇参加費：1,000円

(各施設観覧料、弁当代込み)

◇募集定員：25名(先着順・対象は原則として成人)

◇申込方法：参加費をご持参のうえ、当館受付までお越し下さい。

友の会美術講座

古文書講座

「能登畠山氏関連の古文書に学ぶ」

「難解」と敬遠されがちな古文書ですが、それらを読み解くことによって、その時代を生きた人々の生活や文化を感じ取ることができ、より深く歴史を理解することができます。

今回は、能登畠山家創立六〇〇年事業の一環として能登畠山氏関連の古文書などの史料をもとに、初心者の方にもわかりやすい「古文書講座」を開催します。現在、参加者募集中です。

◇日時：10月18日(土)

午後2時～(1時間30分程度)

◇場所：当館第3展示室特設会場

◇講師：七尾市教育委員会

文化財課 主幹 和田学氏

◇内容：開催中の展覧会を当館学芸員の案内で鑑賞し、その後、展示作品と同内容のものなどを教材に用いて、実際に古文書を読み解いていきます。歴史に関する四方山話も楽しめます♪

◇対象：当館友の会会員(同伴2名まで参加可)

◇定員：15名(先着順)

◇参加費：友の会会員 400円

友の会会員以外 500円

(観覧料・資料代込み)

参加費は当日徴収します。

◇申込先：お電話にてお申し込み下さい。

石川県七尾美術館

☎0767(53)1500

「2008イタリア・ボローニャ

国際絵本原画展」

11月7日(金)～12月7日(日)

「会期中無休」

◆第一・第二・第三展示室

今年も世界中からバラエティに富んだイラストが七尾に集結します。

「いちごの日」
ケーストゥティス・カスバラヴィチュス（リトアニア）



本展覧会は、毎年春にイタリア北部の古都ボローニャ市で開催される、世界で唯一の児童図書専門見本市「ボローニャ児童図書展」で行われる絵本原画コンクールの入選作品を紹介するものです。

一九六七年に始まったこのコンクールは子どもの本のために描かれた五点一組のイラストを審査するもので、物語のためのイラストを描くフィクション部門と、図鑑などの教育を目的とするノンフィクション部門で募集されます。

十六歳以上であれば誰でも応募でき、出版経験のあるなしにかかわらず公平に審査されることから、新人イラストレーターの登竜門として注目されています。

日本では一九七八年に初めて紹介され、当館では一九九八年以降毎年開催し、今年で十一回目を迎えます。

二〇〇八年は世界五十四ヶ国、二五九八人から応募があり、国籍の異なる五人の審査員による厳

正な審査の結果、二十

三ヶ国、九十九人の作

品が選ばれました。本

展では、様々な技法で

描かれた作品、約五〇

〇点を紹介します。

「絶滅危惧種」
ジュリー・ソドレ（ブラジル）



「よい女たちへ、そして悪い女たちへ」
ニコライ・トロシンスキー（ロシア）



「キツネのレイナールト」
クラス・ヴェルブランケ（ベルギー）



「私の大好きなこと」
植野幸子（日本）

展覧会の開催が回数を重ね、国内での知名度が高まるにつれて、日本人の応募者も増加し、今年

は開催国イタリアに次ぐ応募数がありました。中でも近年、日本人イラストレーターのクオリティの高さが評価されており、入選者数は開催国であるイタリアや、ドイツ、フランスといったヨーロッパ勢を上回り、二十人にも及びました（石川県在住者一名含む）。ボローニャ児童図書展を訪れる日本人イラストレーターも増え、海外の出版社からのデビューにも繋がっています。

「絵本子どものもの」と思わないで下さい。この展覧会は決して子どものためだけのものではありません。見る人全てに何かを伝えるパワーを持った作品が選ばれ展示されます。決してかわい

いだけではありません。わくわくしたり、ちょっと怖かったり、悲しかったり。そしてもちろん、たくさんの幸せが詰まっています。

一〇〇を超える物語が美術館で皆さんをお待ちしています。

【特別展示】

今年の特別展示は二〇〇七ブラ

ティスラヴァ世界絵本原画展でグ

ランプリを受賞したドイツの若手

イラストレーター、アイナール・

トゥルコウスキイです。

この賞は、すでに出版されている

絵本を対象に、本の構成要素の

一つである「原画」だけの芸術的

価値を評価するものです。



「招待状」(「クレイエンシュレック男爵の冒険」より)
アイナール・トゥルコウスキイ（ドイツ）

となりました。この処女作『まっくら、奇妙にし

ずか』（邦訳は河出書房新社より）はドイツ国内で「レーゼペーター賞」「トロイスドルフ絵本賞」などの絵本賞を受賞し、ドイツ代表の作品の一つとして、スロヴァキアの首都ブラティスラヴァに届けられました。そしてさらに、ブラティスラヴァ世界絵本原画展に集められた三十八ヶ国、三八八名の絵本画家の作品の中から、見事グランプリを獲得したのです。彼の作品はHBの鉛筆で描か

れています。そこから生まれる、確かな技術に裏打ちされた精緻なモノクロの世界は、鉛筆画の可能性を私たちに再認識させてくれるでしょう。

「2008ボローニャ展アニュアル(図録)表紙」の原画に加え、『クレイエンシュレック男爵の冒険』、『まっくら、奇妙にしずか』の原画など十九点を紹介します。

【絵本コーナー】

展示作品の絵本やお薦

め絵本など約一〇〇冊を

展示します。ご自由にこ

覧下さい。

【映像コーナー】

ボローニャ児童図書展

の様子やトゥルコウスキ

イの独占インタビューを

紹介します。



「ソウネズさんの旅」
マウリツィオ・クアレツコ（イタリア）



「おたんじょう日」
イザベル・シャトゥラール（フランス）

***** ポローニャ展関連イベント *****

※絵本アニメ上映会※【入場無料】

世界の名作絵本アニメを上映します。絵本に登場するキャラクターがスクリーンを動き回ります。

【上映予定表】

11/8 土	11:00～11:40	13:00～13:40
11/9 日	かじゅうたちのいるところ	【お休み】
11/15 土	ごきげんなライオン	ベッドのまわりはおぼろがいていじやにのるひまねがきあ
11/16 日	どろんごハリー	まほうつかいのノナばあさん
11/22 土	【お休み】	くまのコールテンくん
11/23 日	かもさんおとあ	すてきな三にんぐみ
11/29 土	スイミー	ごきげんなライオン
11/30 日	かじゅうたちのいるところ	つたごやのむすめおまじかる
12/6 土	どろんごハリー	

※かんたん絵本を作ろうよ!※【要観覧料】

いらなくなったポスターやカレンダーなどの裏面を利用して冊子を作り、ストーリーを考え、自由に飾りつけてオリジナル絵本を作ります。

子どもコース

開催日 11/8(土)、9(日)、15(土)、16(日)、22(土)、23(日)、29(土)、30(日)、12/6(土)、7(日)

時間

14:00～16:00

対象

4歳～小学生(未就学児は保護者同伴)

定員

各日10名(要申込)

持ち物

不要なポスターなど

協力

「絵本の会 もこもこ」のみなさん

大人コース

「絵本づくり楽しそうね…」と思っていらつしやった皆様に。時間内に、ご自由にご参加下さい。

開催日

11/24(月・振休)

時間

10:00～12:00、13:30～15:30

対象

中学生以上

持ち物

不要なポスターなど

申込

不要。直接会場へお越し下さい。

※一時保育※【要観覧料】

小さなお子様をお連れの方も、気軽にワークショップや展覧会鑑賞をお楽しみ下さい。

開催日

① 11/16(日)、30(日)

時間

② 11/19(水) ※石川県県民育児の日

対象

① 14:00～16:00 ② 10:00～12:00

定員

6ヶ月～3歳児

各10名(要申込)

※ナイトミュージアム※【要観覧料】

いつもは「お静かに」と注意される展示室。でも「子どもと一緒に話しながら鑑賞したい」「のびのびと絵本を読んであげたい」と思っている家族のための時間です。

開催日

11/21(金)、18:00～20:00

対象

中学生以下の子どもを含む家族

定員 10家族(要申込)

「かんたん絵本を作ろうよ!」(子どもコース)「二時保育」「ナイトミュージアム」ともに、

10/25(土) 9:00より電話受付(先着順)。

※「一時保育」「ナイトミュージアム」は開催の3日前までにお申込下さい。

◇共通観覧料

	一般	個人	団体
大高生	700円	700円	600円
	350円	350円	300円

※中学生以下無料・団体は20名以上です。

2008ポローニャ展
入選者インタビュー

おめでとう
ございます!!

今年も石川県からポローニャ展入選者が誕生しました。愛知県出身の富田伸介さん(金沢市在住)です。富田さんは「金沢湯涌創作の森」で銅版画を制作しています。少しだけお話をうかがいました。

- Q1. ポローニャ展に入選したご感想をどうぞ。
- A1. コンクールには色々応募してきましたが、これまで縁がなかったので、今回入選できてとても嬉しかったです。
- Q2. 応募のきっかけは?
- A2. 昨年の七尾美術館でのポローニャ展10周年記念展に出品されていた、釣谷幸輝さんと広瀬ひかりさんに教えていただきました。
- Q3. 今回の入選作品ですが、応募の際に気をつけた点はありますか?
- A3. 応募した5枚がそれぞれ大きさの異なる銅版画なので、それが絵本になった状態をイメージして、刷る紙を同じ大きさでそろえてみた事です。
- Q4. 入選後、何かいいことありましたか?
- A4. 月並みかもしれませんが、自分の作品を良いと言ってもらえたようで、制作に対して少し自信が持てたように思います。

Q5. 最後に、好きな絵本は?

A5. いわむらかずおさんの「14ひきのあさごはん」です。小学校の図工の時間に、この絵本の中の絵が好きで、一生懸命まねをして描いたので思い出に残っています。



「次のやり方を考える」(『彼の夜の出来事』より)

皆さんもポローニャのコンクールに応募してみませんか。詳しくは板橋区立美術館及びBolognaFiereのHPをご覧ください。

☆☆富田さんの油彩画による個展が開催されます☆☆

富田伸介個展 『映し手』

会期: 2008年10月21日(火)～26日(日)
時間: 午前11時～午後7時(最終日は午後5時まで)
会場: ギャラリー名芳洞
〒460-0003愛知県名古屋市中区第一丁目20番12号 伏見ビルB1
TEL: 052-222-2588 (FAX兼用)



※今年もお楽しみ!ポローニャ展グッズ※

ミュージアムショップでは図録やポストカードをはじめ、クリアファイル、一筆箋(各8種類)を販売します。本年入選作家の横下晶氏原画による猫カレンダー、メッセージカード、ミニ作品集などもあります。展覧会期終了前に売り切れてしまう人気商品もありますのでお早めにどうぞ。

「冬季・所蔵品展」

12月13日(土) ～ 平成21年2月15日(日)

※第一展示室と第二展示室の展示が入れ替わりました。

◇第一展示室

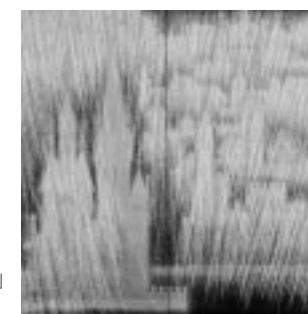
「水と風がはぐぶもの」

水は地球から湧き出て川を流れ、海へ、そして雨となつて降り注ぎます。また、風が吹いて雲が流れ、天気は刻々と変化していきます。

水や風は地球の呼吸のようなものです。生命の源である海は時に力強く飛沫をあげ、時に優しく波打ちます。四季折々、自然の穏やかさや厳しさが伝わり、それらから私たちは安らぎを覚え、畏怖の念を抱きます。

今回展示するのは物理的には動かない作品ばかりですが、そのモチーフにより、作品からは吹き抜ける風、そして風が運ぶ香り、音も感じることが出来ます。木々を撫でる音や波音、雨音、鳴声は風に乗り、作品から溢れ出していきます。

風をつかみ大空を飛ぶ姿は、観るものを開放し、疑似体験する機会をも与えてくれます。所蔵品及び寄託品より、日本画・洋画・彫刻・工芸で紹介予定です。



「風わたる」 山瀬晋吾

「雨の降る街角」 百貫俊夫

◇第二展示室

「新収蔵作品を中心に」

当美術館には現在約五〇〇点の所蔵品と、約六〇点の寄託品が収蔵されています。

所蔵品については購入したものもありますがそれはごく一部で、ほとんどが寄附頂いた作品です。

従って当館所蔵品の充実については「池田コレクション」をご寄附くださいました池田氏をはじめ、多くの方々のご好意によるところが大きく、開館以来これまで貴重な作品をご寄附頂きました皆様には、改めて御礼を申し上げる次第です。さて、昨年の平成十九年度は五人の方々より計十一件、そして本年度は現時点で四人の方々より計六件の作品をそれぞれご寄附頂いています。

そこで本展では、平成十九・二十年度に新しく所蔵品となつた作品及び、近年当館に寄託された作品より、絵画、工芸、書、写真など幅広いジャンルで紹介いたします。



「釉裏金彩牡丹唐草文壺」 吉田美統



「幻影の譜」 中村静勇

◇観覧料

	一般	個人	団体
大高生	350円	280円	2200円
中学生以下無料・団体は20名以上です。	280円	280円	2200円

市民ギャラリー 展覧会案内

第4回 彩の会&写団のと展

10月10日(金) ～ 13日(月・祝)

最終日は午後4時30分まで

七尾市を中心に活動する洋画グループ「彩の会」と写真グループ「写団のと」の第4回合同展で、双方の会員30名が風景、人物などの近作約80点を展示発表します。芸術の秋。ぜひご高覧を。

主催 彩の会、写団のと

連絡先 彩の会 加地求

☎ 0767 (52) 1613

MOA美術館七尾・中能登児童作品展

10月25日(土) ～ 26日(日)

最終日は午後4時まで

生命を尊ぶ心、心ゆたかな人間形成を願いに、未来にはばたく子供たちに、夢と希望を与える入賞作品を展示させて頂きますので、ぜひご鑑賞ください。10月26日午前10時より美術館アートホールにて入賞者の表彰式を行います。

主催 (財)エム・オー・エー美術・文化財団

連絡先 MOA美術館七尾・中能登児童作品展実行委員会

☎ 0767 (53) 3914

平成20年度 七尾市美術展覧会

11月1日(土) ～ 3日(月・祝)

最終日は午後4時まで

地域文化の向上に寄与することを目的として「日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真」の6部門の公募による能登地区最大の美術展です。・・・『伝われ・感動』・・・個性あふれる作品をお楽しみください。

入賞者の表彰式は11月3日午後1時30分より美術館アートホールにて行われます。

主催 七尾美術作家協会(会長 清水聖鵬)
連絡先 七尾美術作家協会 橋本義則
☎0767 (53) 3011

第65回 北國写真展七尾展

12月19日(金)〜21日(日)
最終日は午後4時30分まで

第65回の写真展開催の運びとなり会員の方々も作品作りに自助努力しています。必ず目を見張る夢見る世界へと導かれることでしょう。是非ご来場下さって写真芸術を心行く迄堪能下さい。

主催 北國写真連盟・北國新聞社・富山新聞社
連絡先 宮崎 功
☎0767 (57) 2845

アートホール催し物案内

第26回 青柏民謡発表会「温習会」

10月5日(日) 開演 午後1時

芸術文化である民謡の伝承・発掘し、地域文化向上を目的として、会員の日頃の練習成果を発表します。唄と踊り盛り沢山です。どうぞ、皆様お誘い合わせご来場下さい。

主催 青柏民謡会
連絡先 中西清一
☎0767 (62) 3178

Leafのアンサンブルコンサート2008 〜 Autumn Breeze 〜

10月12日(日) 開演 午後2時

私達Leafは、中能登地区の音楽器愛好家が集まったアンサンブル集団です。当日はブラスアンサンブルを中心に、幅広い年代の方にお楽しみ頂ける内容でお送りします。是非ご来場下さい!!

主催 Leaf

連絡先 Leaf 荒川裕介
☎090-3768-5608

世代間交流コンサート

10月18日(土) 開演 午後1時30分

昔から受け継がれているなつかしい歌、子どもたちの大好きな歌など沢山の用意しました。小さいお子さんからお父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃん、「くるみの会」の演奏で楽しいひとときをすごしませんか。

主催 七尾世代間交流推進事業実行委員会
連絡先 石川県生涯学習インストラクターの会 川部謙三 ☎0767 (52) 1844

えみ&ゆき・ピアノコンサート

10月19日(日) 開演 午後2時

ピアノの音色を聴きながら、休日の午後を過ごしてみませんか?今回は、モーツァルトやショパン、リストやブラームスなどのピアノ曲を演奏します。どうぞ、お気軽にご来場ください。

主催 えみ&ゆき
連絡先 谷 栄美
☎0767 (53) 1124

七尾まだら

「保存伝承師」「伝承団体」認定審査会

10月26日(日) 開始 午後1時

「石川県指定無形民俗文化財七尾まだら」の保存伝承師・伝承団体を、5部門ごとに認定する審査会を行います。まだらを愛する皆様は是非ご応募下さい。どなたでもお気軽にご来場下さい。

主催 七尾まだら保存会
連絡先 同会事務局 江守彪
☎0767 (52) 5736

doice ピアノコンサート

11月9日(日) 開演 午後3時

年に一度のピアノ発表会です。昨年、好評でしたフリーアナウンサーの平見夕紀さんとの「音と言葉の世界」では《ピノキオ》をします。例年と開演時間が違いますが、どなたでも御来場下さい。

主催 ピアノグループ doice
連絡先 井藤真理
☎0767 (58) 1355

石川県立七尾城北高等学校 創立60周年記念式典

11月22日(土) 式典 午前10時

記念演奏会 午前11時

記念式典の後、ピアノ・嶋島由季、フルート・穴戸美奈子、ソプラノ独唱・手島嘉美、ピアノ伴奏・吉村絵里による演奏会があります。午後3時より藤屋(本府中町)にて祝賀会を行います。

主催・連絡先 石川県立七尾城北高等学校
☎0767 (53) 1897

リトル・ウイングコンサート

11月24日(月祝) 開演 午後1時30分

ピアノとエレクトーンの発表会です。六手連弾やアンサンブルなど、一生懸命練習した成果を皆さんに聞いていただきたいと思えます。どうぞ、お気軽にご来場下さい。

主催 リトル・ウイング
連絡先 前田ゆかり
☎0767 (52) 9943

美容組合七尾支部創立50周年記念事業 ジュスカ・グランパールコンサート

12月7日(日) 開演 午後2時

地域の皆様に永年の感謝を込めて「笑顔い

っぱいの時間」をプレゼントします。TV・CM等で活躍中のバイオリン&ギターのデュオ「ジュスカ・グランパール」のコンサートをお楽しみ下さい。

主催 美容組合七尾支部
連絡先 リアルヘアカッティングYou
☎0767 (53) 6030

ひまわり保育園

創立30周年記念式典とおたのしみ会

12月14日(日) 開演 午前9時15分

当園は多くの皆様方のお力添えをいただき、創立30周年を迎えます。喜びいっぱい記念式典と子ども達の太鼓演奏や劇あそび、遊戯等の可愛い発表を行います。ご来場をお待ちしております。

主催・連絡先 ひまわり保育園
☎0767 (57) 2800

大谷済美幼稚園 発表会

12月21日(日) 開演 午前9時30分

みんなで一緒に創りあげる発表会です。一人ひとりが身体いっぱいを使って表現する歌やお遊戯を通して、園児それぞれの一年間の成長を感じてください。

主催・連絡先 大谷済美幼稚園
☎0767 (52) 0526

中條久美子・酒谷広重ピアノ教室発表会

12月23日(火祝) 開演 午前10時

午前と午後別々ですが、2つの教室で、毎年開いている発表会です。1年間の練習の成果をたくさんの方に聴いていただきたいと思えます。お気軽にご来場下さい。

主催 中條久美子・酒谷広重ピアノ教室門下生
連絡先 中條久美子
☎0767 (22) 1412



これからの展覧会予定



◆第1・2展示室

「能登ゆかりの作品展12」

平成21年2月21日(土)～4月19日(日)

当館開館年である平成7年に第1回展がスタートした「能登ゆかりの現代作家展」は、その後、現代作品のみではなく古美術も含めて「能登」の美術工芸全般を紹介していくこととなり、これまで長谷川等伯などの「長谷川派」絵画や、「珠洲焼」をはじめとした工芸品といった、古くから能登地方に伝来する古美術作品の展示も行いました。また、勿論のこと地元ゆかりの現代作家や作品の紹介といったテーマも引き続き継続、身近な美術工芸品の数々を紹介してきました。

そして今回で12回目の開催を迎える「能登ゆかりの作品展」ですが、今回は当館の所蔵品・寄託品を中心として、やはり「能登」につながりを持つ様々な作品を幅広く紹介予定です。

「蘭図」山崎雲山 輪島市蔵



「オランダの版画とモダンデザイン展」 ワークショップ報告!

8月2日から9月15日まで開催された「オランダの版画とモダンデザイン」展では、様々なワークショップも行われ、幼児から高齢者まで楽しんでいただきました。

リートフェルトの1/5サイズの椅子を、組み立てたりモンドリアンの絵のように、思い思いに窓に色シートを貼ったり、エッシャーのパズルを繋げたり、折り紙のチューリップでお花畑を飾ったり、ブルーナ作品のぬり絵や貼り絵も人気でした。オランダの民族衣装を着るコーナーでは、恥ずかしがりながらも、いざ着てみるとチューリップ畑の前でポーズをとる姿が印象的でした。

多くの方にご参加いただき、ありがとうございました!



初めての試み!～ナイトミュージアム～8月23日(土)

夏休みも後半に差し掛かった土曜日、少し暗くなり始めた美術館に、6家族、計19人が集まりました。この日は特別に7時から二度目の開館をしました。最近の子どもたちは、夏休みや土日といったも忙しく、また美術館へ行きたくても、小さいお子さんを連れて行くのは、静かに鑑賞できるか心配で…というようなお声もあり、初めてナイトミュージアムを計画してみました。最初に学芸員の案内で作品を鑑賞し、小さいお子さんは、職員と一緒に折り紙やパズルなどで遊びながら館内を巡りました。その間にお父さん、お母さんにはゆっくり作品を鑑賞していただければ…という予定でしたが、もう少し時間があっても良かったかもしれませんね。「他のお客様に気兼ねなく、子どもと会話したりできたので、楽しかった」という感想も頂きました。ご参加くださった皆様、ありがとうございました。次回はボローニャ展で開催(11/21)します。ぜひまたご参加ください。



喫茶室から 新・期間限定メニューのお知らせ



お抹茶セット500円

約600年前から作られていたとされる七尾名産「大豆飴」が柚子・抹茶・ドライフルーツの現代風味に生まれ変わりました。本格派のお抹茶とご一緒に新しい味をお楽しみください。(期間:11月3日まで)



割引、プレゼントなど特典いろいろ / ぜひ当館でもご利用ください。



飛行機……能登空港から能登有料道路利用約45分
車……金沢から能登有料道路利用約1時間15分
タクシー……JR七尾駅から約5分
徒歩……JR七尾駅から約20分
市内循環バス……JR七尾駅前5番乗り場から西回りに乗車約6分(まりん号)

休館日のお知らせ

(10月～12月)

- ◆10月 6、14、20、27～31
- ◆11月 4～6
- ◆12月 8～12、15、22、24
- ◆年末年始 12/29～1/3

◎次号・第56号(冬号)は1月1日発行予定です。

〒926-0855 石川県七尾市小丸山台1丁目1番地
TEL(0767)53-1500/FAX(0767)53-6262
<http://www.city.nanao.lg.jp/nanabi/>

石川県七尾美術館だより

第55号(秋号)